

Reading

中学生・高校生の皆さまへ



速く正確に読む・聴く力を鍛える

■●▲☀ 速読聴英語 講座



Listening



変化する英語教育 最新の入試事情

高校、大学入試も長文化傾向

高校入試でも共通テストでも、年々文章量が増加しています。

一般的な中高生の英語の読書速度といわれる約70～75wpm(1分間に70～75単語を読むスピード)では、時間内に解ききれません。

入試において、速く、正確に英語を読む力は必須といえるでしょう。

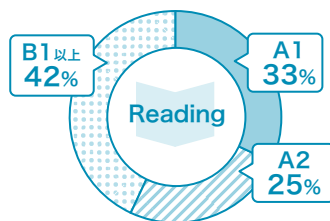
各試験比較	リーディング 記載語数	リスニング 放送速度
大学入学共通テスト	約5,900語(80分)	140語/分
東京都高校入試	約3,000語(40分)	130語/分
大阪府高校入試(C問題)	約2,850語(30分)	150語/分
英検®2級	約2,300語(85分)	135～145語/分
英検®準2級	約1,850語(80分)	130～140語/分
英検®3級	約1,450語(65分)	125～135語/分

※共通テストの語数は過去5年間の、高校入試の語数は過去3年間の平均です。※英検®のデータは2024年度実施のものです(SRU調べ)
※カッコは筆記試験のみの試験時間

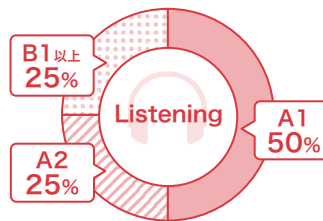
リスニングでもCEFR B1以上のレベルが

大学入学共通テストの出題は、1/4以上がCEFR B1(英検®2級相当)以上のレベルであるうえ、リスニングでは、1回再生の問題が配点の約6割を占めます。高校入試においても、都道府県により、1回再生の問題が含まれたり大学入試に類する放送速度であったりするなど、より実践的なシチュエーションで、英語のリスニング力が求められています。

大学入学共通テストCEFRレベル ※過去3年間の平均 ※SRJ調べ



- ✓ 発音、文法問題がなくなり、全て長文読解に
- ✓ 設問が全て英語で日本語の注釈もない



- ✓ 読み上げが1回のパターンも出題
- ✓ 答えが1つとは限らない問題が出題

変化する入試の中で、高得点を取るためには

早くから英語を「読む」「聴く」ことで
英語に慣れることが大切

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

長文英語を得意にする！

英語に「慣れる」 2つの秘訣



単語や文法をおぼえるのも大切だけど、長文演習も早めに始めよう！

秘訣1：英語を前から速く読む練習

英語に慣れていない人は、右の図のように単語ごとに日本語に訳し、さらに日本語の順番に置き換えて、前に戻りながら読むという時間がかかる読み方をしています。速読聴英語では、意味の固まりごとに前から読み進める“スラッシュリーディング”の読み方を訓練し、読む時間の短縮を目指します。

速く読む力を身につけると、余裕をもって問題を解くことができ、さらに見直しをする時間も確保できます。

時間のかかる読み方

× 単語ごとに訳して、日本語の語順に直しながら読んでいる

Today, I want to tell you about my summer vacation.

今日 私 したい 話す あなた達 ~について 私の 夏 休み

⇒ 今日はみなさんに私の夏休みについてお話したいと思います。

スラッシュリーディング

◎ 意味の固まりごとに理解し、英語の語順のまま読んでいる

Today, I want to tell you about my summer vacation.

今日 私はあなた達に話したい 私の夏休みについて

秘訣2：たくさんの英文に読む・聴くで慣れる

言葉話をしたり、書いたりするためには、たくさんの語彙を「読む」「聴く」というインプットをすることが必要です。読んで、聴いた量が多ければ多いほど、「話す」「書く」などのアウトプットの時、様々な伝え方ができます。

まずはインプットをたくさんすることが大切なんだね！



インプットと
アウトプット

使用語彙量
||
表現力の幅

理解語彙量
||
理解力の幅

アウトプット
書く・話す

インプット
読む・聴く

しかし、正しくインプットするためには、自分のレベルに合っていることが重要です。トレーニングは、自分よりも1つ低いレベル、8割程度理解できる英文からはじめ、徐々に難易度を上げていくことが効果的です。



自分のレベルに合ったコースではじめよう！

コース	学年目安	内容
Course I	小学校高学年～ 中学1年生	英語初心者向けの短くて易しい文章を豊富に搭載
Course II	中学2年生～ 高校1年生	説明文、エッセイ、手紙文など高校入試で出題される形式
Course III	高校生	論文、会話文、WEB文章などの長文問題
Course IV	大学受験生	現代技術や社会問題など、大学入試に出やすいトピック

ライバルと差をつける！ 速読聴英語トレーニング

Reading

Vocabulary

各単元ごとに10～30語の単語を学習します。
学習後、和訳問題が出題されます。

Reading

入試や民間の検定・試験には出題範囲はありません。
そのために、さまざまな英文を読んで演習することが大切です。

Speed Reading

前から英文を読むトレーニングを行います。毎回行うReading演習
で読んだスピードに応じて、トレーニング速度が変わります。

Listening

Vocabulary

Listeningコースでは音声聞いて、和訳問題に挑戦します。

Listening

リスニング力をつけるには継続することが大切。Readingコースと同
じテーマでリスニング演習ができます。演習をたくさん行って、リスニ
ングテストでも差をつけましょう。

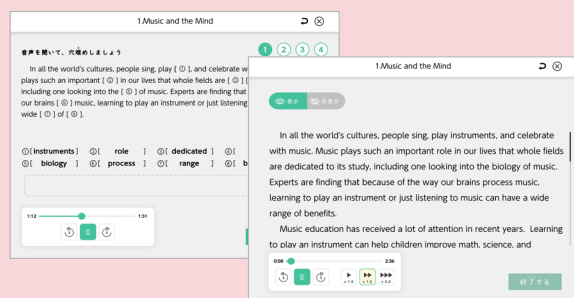
Speed Listening

倍速音声を一定時間聞いてると通常速度の英文がゆっくり聞こえ
るようになります。速読聴英語講座では、最大2倍速まで聞く「倍速ト
レーニング」を行います。

推奨トレーニング

英文を聞きながら単語などを書き取るディクテーション、英文を聞きながら声に出して読むシャドーイングも英語力を上げるためのトレーニングとしておすすめです。そのほか入試・検定対策も充実。普段のトレーニングと合わせて行いましょう。

ディクテーション・シャドーイング



英語音声聞きながら、空欄に適切な単語を入れるディクテーション、1.5倍、2倍速の音声に合わせてのシャドーイングができます。

中学校教科書対策 高校入試対策・共通テスト対策



中学生向け教科書対応コース[※]や、全国の公立高校入試の様々な形式に対応したコンテンツを搭載。高校生向けにも実際の共通テストの形式に対応した入試対策コンテンツが。

※対応教科書についてはお問い合わせください。

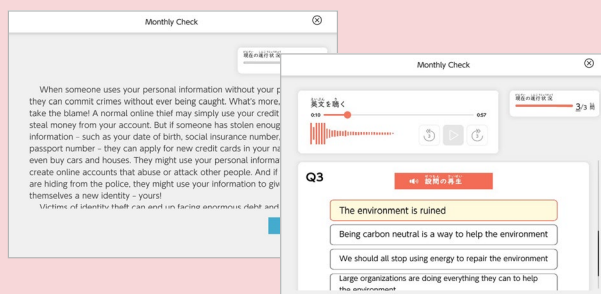
得意な問題や苦手が
わかるから対策できる！



成果・実力確認

「読む」「聴く」力がバランスよく身についているかを測ることを目的に、年9回のマンスリーチェック、年3回の速読聴英語検定を実施。自身の実力を測って、次の目標設定に活用できます。

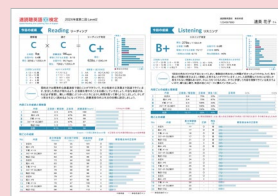
マンスリーチェック



速読聴英語検定



成績表を発行 /

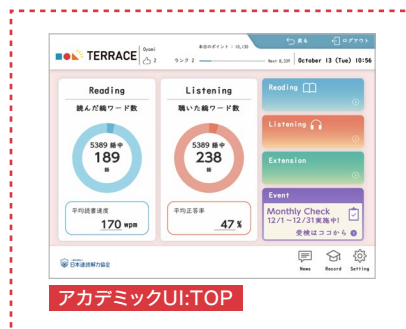


続けることで身につく！モチベーションアップの仕組み /

世界旅行をベースとしたゲーミフィケーションとなっており、訪れた国の情報を知ることができるので異文化学習にもつながります。また、トレーニングでためた仮想通貨(ページ)で訪れた国のアイテムを買うことができます。(ノーマルUIのみの機能)



ノーマルUI : WORLD MAP



アカデミックUI:TOP

VOICE

学習や受験に
役立つ
94.4%

英文が理解
しやすくなった
90.4%

これからも
続けたい
96.4%

※対象722人



**速さと正確さの両立で
英語長文が得意に！**

H.M.さん 【高校1年生】

速読聴英語を始めたきっかけは英語の長文読解を得意にするためでした。単元ごとに新出単語を予習してから長文に挑めるので、分からない単語があっても混乱せずに読み進められるようになりました。スラッシュリーディングでは、日本語を読むときのように「まとまりで読む」ことを意識し、また目の動きのトレーニングが重要で、繰り返すことでスムーズに読めるようになりました。速読聴英語は毎月のテストや速読聴英語検定で点数の伸びを確認できるのもモチベーションになります。中2の実力テストでは80点台だったのが、中3では95点以上になりました。



**目に見える成果で
英語学習が楽しくなる**

K.K.さん 【中学3年生】

速読聴英語は中学1年生の時にレッスンの中で取り入れられるようになったのがきっかけではじめました。速読聴トレーニングのなぞり読みや単語ごとに読む練習法を、テストでも意識して読むことで問題を解く時間が速くなりました。リスニングでは音声流れている間、問いが表示されないで、より集中して文章を理解しようとする意欲が高まりました。速読聴英語検定では自分のレベルが可視化され、勉強のモチベーションにつながっています。英語は多くの人が苦手意識を持っていますが、私はより英語の勉強が楽しいと思うようになりました。



**速く読む力で
英語が得意科目に変わる**

O.M.さん 【高校3年生】

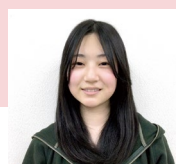
速読聴英語を始めたのは、大学入試では英語の長文を速く読むことが重要だと感じたからです。学習を始めて、速く正確に読めるようになって共通テスト模試で90点近く取ることができました。リスニングも、音声は何度でも聞けるのが学習によかったです。リーディングでは何よりも単語を覚え、長文を読むことに集中し、速度を上げることを意識しました。速読聴英語では自分の読む速度の平均が表示されるので、どの英文を読んでも速度が下がらないよう意識できました。その結果、クラスの人たちよりも速く英文を読み終え、英語が一番の得意科目になりました。



**リスニング力アップで
模試の点数も大幅に上昇！**

鈴木 美月さん 【高校3年生】

速読聴英語を始めたのは、模試でリスニングが一番苦手だったからです。様々な速さで音声聞くことで耳が慣れ、1回で正確に内容を聞き取れるようになりました。リーディングでも1回で読み取ることを意識し、より速く正確に読む能力が身につきました。その結果、模試のリーディングで余裕ができ、見直す時間が増えて点数が上がり、ベネッセ総合学力テストで77点だったのが、進研模試では101点に伸びました。高校の英語教師を目指しているので、これからはスピーキング能力も高め、就職に有利な資格も取得していきたいです。



**継続は力なり！週1回の
積み重ねで英語力大幅アップ**

熊田 真結さん 【中学3年生】

塾の先生の勧めで速読聴英語講座を始め、Course Iから週1回のペースで受講しました。最初は英文を読むのに時間がかかっていましたが、時間を意識してトレーニングを続けることで、全体的に読むスピードが向上しました。リスニング力も身につく、テストで大いに役立ちました。マンスリーチェックでは自分の実力を客観的に把握でき、速読聴英語検定ではリスニング力を測る貴重な機会を得られました。受講を始めてからテストで90点台を安定して取れるようになり、中3の定期テストでは100点を達成することができました。これからも英語の勉強を頑張りたいと思います。



**確認時間が増え
苦手意識を克服**

M.A.さん 【高校3年生】

速読聴英語を始めたのは、もっと英文を読めるようになりたいと思い、また苦手なリスニングも克服したいと思ったからです。Course IIIを週に2～3回行い、共通テスト対策なども受講しました。スラスラ読めるようになって、確認できる時間が増え、英語の苦手意識が少なくなりました。リーディングでは時間と意味のまとまりを意識して読むことがよかったです。リスニングではいろいろな速さで音声聞くことができるので、耳を英語に慣れさせることができました。高2の中間テストでは55点だったのが、高3の2学期期末テストでは76点まで上がりました。

※成果の表れ方には個人差があります。※学年と受講歴は取材当時



3分でわかる、君のグローバルカ
英語総合読解力測定 **メジャーさん**



受験合格者の声も公開中！

受講生インタビューやトレーニング動画を公開
みんなの速読チャンネル



〔問題開発／監修〕



一般社団法人

日本速読解力協会